学部 / 看護専門領域 / 健康・疾病・障害の理解
科目コード：120103

人間機能学Ⅲ（演習・実験） Laboratory Work on Human Body

担当教員	長谷川 昇				
実務経験					
開講年次	1年次後期	単位数	1	授業形態	実習
必修・選択	必修	時間数	45		
Keywords	解剖学、生理学、生化学				
学習目的・目標	人間機能学Ⅰ（解剖生理学）、人間機能学Ⅱ（生化学）の講義・演習から得た知識をより深く理解するための実習・演習を行う。立体的な模型や化学物質を扱うことにより、生命現象を自らの手で再現し生命科学の方法論を理解する。				

授業計画・内容

回	内容
1	解剖実習
2	血液実習
3	酸塩基平衡実習
4	体表解剖学実習（１）
5	体表解剖学実習（２）
6	循環機能実習
7	呼吸機能実習
8-11	組織学実習見学
	（注）予定は都合により変更となる可能性があります。 詳細な日程等は後日提示します。

教科書	実習の手引きを10月配布する予定です。この手引きに従って授業をすすめます。実習開始までに白衣を用意して下さい。白衣に関して4月に共同購入の機会があります。参考書等は別途指示します。
参考図書等	
評価指標	2/3以上の出席が単位取得の必要条件です。出席、レポート内容、学習態度を総合して判定します。概ね、出席50%、レポート50%で評価します。レポートは必ず提出して下さい。未提出でも督促はしません。出席が少ない場合、またはレポートが未提出の場合、単位が認定されない場合があります。
関連科目	人間機能学Ⅰ、Ⅱ、疾病障害論、人間病態学、他多数
教員から学生へのメッセージ	実習・演習においては、自分自身の手を動かし、頭で考え工夫することにより真の知識が身につきます。参加して実行することが重要です。レポート提出のためのレポートにならないようにしましょう。事前に実習の手引きの当日分を必ず予習しておいてください。